

用語等の補足説明

◆登録対象について

院内がん登録標準登録様式に定義される登録対象となる腫瘍の種類に該当するもののうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初診し、初回の診断（自施設における、当該腫瘍に関して初めての、診断および/または治療等の診療行為）が行われた腫瘍が登録対象となります。

※各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例、再発例を含みます。また、治療を行わない経過観察例も含まれます。1腫瘍1登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した“がん”と判断された場合、多重がんであるとして登録します。多重がんの判断については、2018年症例より SEER2018 準拠ルールに基づいて登録します。登録済みの同じがんについて、当該施設で治療中に再発した場合は登録対象ではありませんが、同じ患者が同じがんでは複数のがん診療連携拠点病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性があります。

登録対象として収集を行ったデータは、匿名化されたデータもしくは集計値のみであるため、重複の整理は行っていません。

◆診断年について

初回治療の開始前に、診断のために行った検査のうち、がんと診断する根拠となった検査が行われた年が診断年となります。紹介元など他施設において行われた検査ががんと診断する根拠となった場合は、当該腫瘍について自施設を初診した年を診断年とします。

◆「部位別」の登録部位について

がん登録は原発部位で登録します。原発部位が不明の場合は「その他」に含まれます。

◆症例区分について

登録施設での診断の有無と、登録施設における初回治療の有無の組み合わせにより患者を振り分ける区分です。症例区分 80 の「その他」は、10～40 のいずれにも分類できない場合にのみ用いるため、基本的な集計対象から除外しています。

◆初回治療について

院内がん登録における初回治療とは「当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行われた腫瘍に対する治療」を意味します。最初の診断に引き続き行われた治療の範囲は、治療計画等に記載された治療とし、経過観察が計画された場合あるいは治療前に死亡された場合は経過観察行為を初回治療とみなして扱います。

◆来院経路について

自施設以外からの紹介状を持参した場合、宛名が自施設の場合は、紹介者が自施設への受診を選択したと考え、「20：他施設紹介」、宛名が無記名の場合は、患者が自施設への受診を選択したと考え、「10：自主的受診」を選択します。

◆総合ステージ(病期)について

病期は患者の予後に影響する重要な要因です。治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた適用外及び術後病理学的ステージが不詳であった例、腫瘍切除を行っていない例では治療前ステージを用い、がんの治療開始時点での病期を示す指標として総合ステージを算出しています。

◆治療の件数について

治療開始時点で計画された一連の治療の件数を示しています。治療中・経過観察中に新たに計画され追加された治療などは件数に含まれません。

◆初回治療の組合せの分類方法について

1 手術のみ	8 手術/内視鏡＋放射線
2 内視鏡のみ	9 手術/内視鏡＋薬物
3 手術＋内視鏡	10 手術/内視鏡＋その他
4 放射線のみ	11 手術/内視鏡＋放射線＋薬物
5 薬物療法のみ	12 他の組合せ
6 放射線＋薬物	13 経過観察
7 薬物＋その他	

◎手術：外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、または両方が実施された患者を合算して手術として集計しています。

◎薬物療法：化学療法、内分泌療法のいずれかが実施された患者を合算して薬物療法として集計しています。内分泌療法には、前立腺癌における除睾術等も含まれています。

◎その他の治療：手術・内視鏡・放射線・薬物療法以外の、腫瘍の縮小・消失を目的に腫瘍に対して行われた治療が実施された患者を合算してその他の治療として集計しています。（免疫療法・BRM、肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、はその他の治療に包含されています。）

◆愛媛県独自集計上の注意点

自施設での治療施行日が登録されている外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線治療、化学療法、内分泌療法について、全国集計では治療施行日が5か月(155日)を超えている場合は当該治療を実施しなかったとして集計を行っていますが、愛媛県集計では、5か月を超えた治療についても当該治療を実施したとして集計を行っています。